

No.26
2005年1月1日

いい旅いい仲間



発行所：(株) 富士国際旅行社
編集者：「いい旅いい仲間」編集委員会
〒160-0022 東京都新宿区
新宿2丁目11-7 第33宮庭ビル4階
☎ 03-3357-3377 FAX 03-3357-3317
E-mail：gm@fits-tyo.com
URL：www.fits-tyo.com
印刷・光陽メディア(株) 発行部数・25,000部

新年あけましておめでとうございます。

二〇〇五年元旦 社員一同



ベトナム・日本文化観光まつり

戦後六〇年、ベトナム全土解放三〇年



ベネズエラの小学校



ケニアのこどもたち



デンマークのこどもたち

CONTENTS

戦後60年、ベトナム全土解放30年

- P2 ベトナム、イラク、そして環境破壊
- P3 アウシュビッツ 多くの人に伝えたい
ポーランド ショパンピアノコンクール
- P4 中南米の熱い風 ベネズエラ
- P5 アフリカで元気な人に出会った！
- P6 郷土のおすすめ特産品・物産紹介
エスニック料理
- P7 アンデルセン 200歳バンザイ！
ブックガイド
- P8 アラスカ “冬の移ろい”



アラスカのオーロラ

次代に続く生命の戦争

ベトナム、イラク、そして環境破壊

フォトジャーナリスト・前岐阜大学教授 中村梧郎



「ルク（4歳）には左腕がない。腕の先端には指の痕跡だけが残っていた。（ハノイ1981年）」

いた」と暴露しました。

■イラク戦争はベトナム化しています。民族的抵抗に遭遇して、米軍は収拾不能に陥っています。イラク国民全体をテロリストと呼んでファルージャでのように皆殺しにするのでしょうか？ 米軍もベトナムの人々をテロリストと呼びました。抵抗勢力が、武器も身も隠したまま戦えるのは、住民の圧倒的な支持があるからです。

■世界大量の残虐（核、化学、細菌）兵器をもち、使ってきたのはまさにアメリカです。原爆を使ったのはアメリカだけです、化学・細菌兵器も使用してきました。小型

枯葉剤に含まれていたダイオキシンは人体に蓄積したまま、未だにベトナムの人々を苦しめています。悲劇はベトちゃんドクちゃんだけではありません。流産死産によって無数の命が奪い取られ、かろうじて生まれてきた子供たちにも多くの先天障害が認められています。その子どもたちも今は成人して

地雷を撤くクラスター爆弾も原型はベトナム戦争でのボー

■さらにベトナムでは空前の化学兵器使用（枯葉作戦）によって熱帯雨林と農地を砂漠化させました。

出産年齢に達しています。先

天異常はさらに次の代にも発

現していると考えられます。

■しかもこの枯葉作戦が、第二次世界大戦末期に日本に対して準備されていたものであ

ったことも見逃すわけには行



なかむら・ごろう ●
フォトジャーナリスト。1999年から2004年まで岐阜大学教授（メディア論・環境文化論）。1940年生まれ。枯葉剤問題の報道で八三年ニコン第八回伊奈信男賞受賞、ユージン・スミス賞にもノミネートされた。'96年日本ジャーナリスト会議特別賞。'03年ベトナム政府より文化功労賞授与。'01年からホーチミン市戦争博物館で「戦場の枯葉剤」を常設展示。著書に「母は枯葉剤を浴びた」（新潮文庫）、「環境百禍」（コープ）、「写真で何ができるか」（大月書店）、「戦場の枯葉剤」（岩波書店）。

量消費・大量廃棄に伴う大量

焼却が、焼却炉内でダイオキシンを発生させて周辺に飛散、大気と土壌、水系の汚染をひきおこしています。母乳

汚染の問題にとどまらず、日本周辺で獲れる魚類の大半はダイオキシンを高い濃度で蓄積していて、米軍EPAの摂取警告値をすでに超えているという問題になっています。

しかし日本では食品のダイオキシン規制がありませんから問題とされず、誰もが知らない間に摂りこんでいる、という状況にあります。

事態は深刻。問題をベトナムへの同情という観点からのみ眺めていては誤ってしまいそうです。

■しかしダイオキシンは、今やベトナムを越えて、発達した工業国に共通する汚染問題として立ち現れています。大

そんなおかしな日本と対比すると、ドイツの戦争責任に対する姿勢や、イラク派兵をせず、国連中心の解決を追求する政策は日本と正反対です。

六〇年を経た今も、第二次大戦が何であったのかを学ぶ「平和の旅」の意義は大きいようです。

今年にはベトナム解放三〇周年でもあります。一九七四年に最初の訪問団を送り、七七年には最初の直行のチャーター便による友好訪問団を送ったのもつい昨日のようです。米軍が散布した枯葉剤のために三〇年たった今も、数十万ものベトナム人が苦しみ背負っています。ここにも終わらぬ戦争があります。

今年も平和の旅、交流の旅、おまかせ下さい。

今年も平和の旅、交流の旅、おまかせ下さい。

中村梧郎 写真展

「枯葉剤の30年」

4月11日～23日

（於）東京・銀座

ニコンサロン

二〇〇五年新年ぐあいやつ

富士国際旅行社 社長 市原芳夫

昨年

の当社創業四〇周年の行事へのご協力ご参加に対し心より御礼申し上げます。多くのみなさまとお会いできましたことを社員一同大変うれしく思っています。

今年

は戦後六〇年。先の戦争への反省もないまま、イラクに自衛隊を派遣し、国民の意見を聞かずにその期限を延長しました。米軍の激しい軍事攻撃が続いています。大量破壊兵器も、フセイン政権もない今、米軍は何と戦っているのでしょうか？

「戦場に赴き亡くなった方への哀悼の誠をささげ、不戦の誓いをする」ために靖国神社参拝を続けるなら、小泉首相は広島・長崎やアジア各地でも犠牲者たちの慰霊碑に足しげく通うべきでは……。

憲法九十九条では「憲法を尊重し擁護する義務」は、「国務大臣、国会議員、裁判官その他の公務員」にあるとなっているのに、何の不都合もない憲法を変えようとする政治家は憲法違反では？

中国では戦争の被害の歴史が次の世代に引き継がれているのに、日本では加害の責任をあいまいにする教育に変えられ「平和的な国家及び社会の形成者」の育成を目的とする教育基本法の改悪までもくろまれていくようですが……。

ベトナム全土解放 30周年記念企画

日本文学作家ユニオン理事長・丹野章氏同行
世界遺産のハロン湾と少数民族の村々（サハ）を訪ねる

3月17日（木）～3月24日（木） 237,000円
定員20名 添乗員同行

◎写真家・丹野章さんが現地で写真撮影の手ほどき。写真家の目から見たベトナムを。写真のお好きな方はもちろん、興味のある方にお楽しみいただけるコース。

◎自然の芸術・ハロン湾。奇岩の間をめぐるクルージングと洞窟見学。ベトナム戦争で空爆を受けた地を世界遺産として保全・継承しているベトナムの人たちの努力。

◎ベトナム北部に多くむ少数民族。民族ごとの伝統をあらわす民族衣装と少数民族が集まる市場での交渉・交流はお楽しみ。

首都ハノイとハロン湾5日間

2月10日（木）～14日（月） 152,000円
3月10日（木）～14日（月） 155,000円
定員20名（最低催行15名）添乗員同行、成田空港発・着

★「世界遺産」水墨画のような景観のハロン湾クルーズ。

★ホーチミン博物館またはホーチミン廟見学。陶器の村パチャン、水上人形劇鑑賞。

ベトナム解放30周年記念
横井久美子メコンデルタで歌う6日間

5月4日（水）～5月9日（月） 238,000円
定員30名 添乗員同行

ホーチミン②→カンター②→機中泊①

◎ベトナム戦争で枯葉剤の被害を最大に受けたメコンデルタで、横井久美子さんがコンサートを開催。ベトナム解放30年目の年、世界と日本の分岐点にあたる時期のベトナム。

◎メコンデルタ最大の町カンターは、経済・交通の中心。水上マーケットに並ぶ色とりどりの果物や野菜。メコンとともに生きる人々の姿。

40周年謝恩企画 ベトナム 南部・北部の旅
ホーチミン市とマンガローブの林カンザー6日間

6月30日まで毎週木曜日発 110,000円～158,000円
成田・関西・福岡空港発 2名から実施・添乗員同行なし

★ホーチミン市で統一会堂、戦争証跡博物館、クチ見学。

★メコンデルタの河川カンザーへ。枯葉剤の被害を克服し、再生したマンガローブ林を船で周遊。

歌声喫茶ともしびと行く
平和とうたごえ交流の旅

～ハノイ・ハロン湾・ホーチミン市 7日間～
4月26日（火）～5月2日（月） 218,000円
定員30名 添乗員同行

◎アメリカ軍の枯葉剤の被害者の子供たちが喜ぶ「平和村」を訪問し、パネロシアター公演とうたごえ交流会。

◎ハノイ文化基金を訪問し、パネロシアター公演とうたごえ流を予定しています。

◎ホーチミン市ではベトナム戦争終結30周年の記念行事に参加。退役軍人の会と祝賀交流会。

①成田 ハノイ②午前：ハノイ市内見学（ホーチミン廟、ホーチミンの家、革命博物館）午後：ハノイ近郊の「ベトナム平和村」を訪問し、子供たちとうたごえ交流③ハノイ文化基金を訪問しコンサートとうたごえ交流 その後ハロン湾へ④午前：ハロン湾クルーズ 午後：ハノイ5 ホーチミン市着後：ホーチミン市内見学（統一会堂、戦争証跡博物館）⑤ベトナム戦争終結30周年の記念行事に参加。ベトナム退役軍人の会を訪問し交流会⑥午前：ベトナム解放戦線の拠点・クチの三角地帯へ。午後：自由行動 深夜：ホーチミン市発 5 ⑦早朝：成田着

「戦場の枯葉剤」の著者・中村梧郎氏同行
解放記念日をホーチミン市で！ ベトナム友好訪問団

～古都フエ・ホイアン・ホーチミン市 8日間～
4月25日（月）～5月2日（月） 210,000円
定員25名 添乗員同行

◎4.30解放30周年の記念日をホーチミン市で迎え、退役軍人の会と祝賀交流会を開催。

◎ベトナム戦争を告発し続けた中村梧郎さんが同行・解説する平和と交流の旅です。

◎ベトナムを南北に隔てた激戦地17度線・ベンハイ川の戦争史蹟を訪ねます。

◎中村梧郎氏の写真展が開催されている「戦争証跡博物館」をご本人の解説で見学。

①成田 古都フエ②終日：ベトナム戦争の激戦地17度線・ベンハイ川へ。ヒエンロン橋、ビンモックトンネル、9号線の激戦地跡、ホーチミンルートなど見学③午前：フエ市内見学－王宮（世界遺産）、ティエンム一寺など 午後：ハイロン峠を越えて日本人街が残るホイアンへ④午前：旧市街（世界遺産）の見学 午後：ダナン ホーチミン市⑤午前：中村梧郎常設展示館のある「戦争証跡博物館」見学 午後：統一会堂、ベンタイン市場など⑥午前：ベトナム戦争終結30周年の記念行事に参加（予定）午後：ベトナム退役軍人の会を訪問・祝賀交流会⑦終日：自由行動（e 希望者はベトナム解放戦線の拠点・クチの三角地帯へ。）午後：深夜：ホーチミン市発 ⑧早朝：成田着

POLAND

シヨパン・国際ピアノコンクール

岩永加奈代（営業部海外手配）



ポーランド観光局長（中央）・日本局長（右）



シヨパン・アカデミー教授

平和憲法の国、自然の宝庫、子どもの環境考える
コスタリカ 10日

2月 7日（月）～16日（水） 340,000円

4月 11日（月）～20日（水） 350,000円

最低実施15名 日本より添乗員同行

★政変の多い中米にあって50年以上前に制定した平和憲法の「軍隊をもたない」条項を今も堅持している国コスタリカへ。

★原始からある豊かな熱帯の自然を保護し、世界に先駆けてエコリズムを実践している国。手塚治虫の「火の鳥」の題材にもなった幻の鳥・ケツァールはじめ、多様な鳥類の生息地セロ・ムエルテへ。標高2,000mの熱帯の自然をエコガイドがご案内。

★首都サンホセでは学校訪問と選挙最高裁判所又は人権センター訪問。憲法をささえる制度や平和への考えを探る。

アトランタ経由サンホセへ～コスタリカ・サンホセ④～セロ・デ・ラ・ムエルテ自然公園①～トルトゲーロ国立公園①～サンホセ①～アトランタ①～機中①



ふたつの国の美しき田舎訪ねて
北フランスとイギリスの旅 10日

5月11日（水）～5月20日（金） 383,000円（最小10名）

6月 2日（水）～6月11日（金） 388,000円（最小15名）

7月28日（水）～8月 6日（金） 443,000円（最小15名）

★パリでゆったり3泊、オルセー美術館やモンマルトルの丘で古き良き時代のパリを絵画に詳しいガイドがご案内。そしてパリからセーヌ川河口の港町ル・アーブルまで、緑豊かな田園地帯とカラフルな港町を訪ね、ゴッホ、セザンヌなど、印象派縁の地を訪ねます。画家ゴッホ終焉の地オーヴェル・シュオワーズ。牧草地帯やノルマンディ風の木骨組みの民家、豊かな自然が広がり、自ら作った庭園や花に囲まれ、田舎暮らしを愛したモネのジヴェルニーを訪れます。

★古くから英仏戦争の歴史の舞台ノルマンディ。ジャンヌ・ダルクとゴシックの街・ルーアン。カマンベールチーズの本場であり、新鮮な魚貝を材料とした郷土料理も美味。カラフルな港町ル・アーブルも訪ねます。

★ふたつの国を分けるドーバー海峡を渡りフェリーで渡り、イギリス・ポーツマスへ。再び緑の沃野を走り、北西イングランドへ。

★かつては羊毛産業で栄えたコッツウォルズの時代の変化に取り残された昔の町並を訪ねる。緑の草原、草を食む羊たち、ライムストーンの花でできた民家や橋、色とりどりの花で飾られたお庭を眺めながらウォーキングを楽しみます。★伝統的な英式パブで地元のエールビールをお楽しみください。

★希望の方にはロンドンでの延長滞在を手配いたします。
パリ③→ルーアン①→ルアーブル→船中①→ポーツマス→チェルトナム②→ウィンザー①→ロンドン→機中①→東京・成田（→大阪）

アウシュビッツ

僕は初めてヨーロッパを訪ね、文化と歴史に触れることができました。

まず最初に訪ねたコペンハーゲンには、建物が低く東京と比べて空が広く感じました。また、アマリエンボー宮殿等の有名な建物だけでなく市全体がとてもきれいな町でした。所々に戦争の傷跡が残っている場所もありますが、旧市街や中央広場は気持ちのいい場所でした。

一日目にビルケナウを訪ねました。敷地内にはレンガで造られた小屋の区域と木製の小屋の区域があり、最初にレンガの小屋へ入りました。中はとても粗末な造りでした。木製の小屋はもつとひどく、小屋のいたるところに穴があいていて、どちらも人の住めるような場所ではありませんでした。二日目にアウシュビッツを訪ねました。ここの収容小屋は比較的きれいなものでしたが、



多くの人に伝えたい

並木克弥（東京・高校生）

＜第28回歴教協ヨーロッパの旅に参加＞

ガス室や焼却室はとても悲惨な場所でした。大きな部屋の天井に掘られた四つのガス孔と死体を効率よく焼却炉に入れるために作られたレールがとても衝撃的で、僕は思わず泣きそうになってしまいました。五日目にクラクフを訪ねました。ここは戦時中にまったく被害を受けなかった場所なので、市内はきれいな場所が多く感じのいい町でした。最後に訪れたビイリニユスも静かで落ち着いた町でした。三日間で一九九一年に旧ソ連軍が侵略してきた時の犠牲者の碑や、戦時中に六千人のユダヤ人の命を助けた杉原千畝が住んでいた旧日本領事館等、多くの場所を見学しました。

今回の旅行は終わりましたが、僕の人生はまだ何十年もあります。この旅行を終わりとせず、これからもっと戦争について学び、後世の人間へ伝えていくための始まりにしたいと思います。

激動の二〇〇〇年史

十六世紀ヨーロッパではモスクワ大公国に次ぐ領土を持つ大國だったポーランド。当時の首都クラクフのバベル城は今も当時の栄華を伝えている。しかしそれ以降ポーランドは過酷な運命に翻弄され、十八世紀末にはその国名さえも地図上から姿を消し、さらに第二次世界大戦ではドイツに全土を占領され、ワルシャワを初め、多くの都市が焦土と化した。ナチスドイツ最大の強制収容所アウシュビッツ（ポーランド語「オシュベンチム」）もクラクフから一時間半の所にある。

中央ヨーロッパ

侵略からの再建を繰り返してきた訳であるが、それはこの国がヨーロッパのほぼ中央に位置し、ドイツ、オーストリア、ロシアに囲まれていたから故である。ワルシャワの文化宮殿で行われたビジネス・ツーリズムでポーランド観光局長アンドリュ・クボルスキー氏は、ヨーロッパ連合（EU）に加盟し、その地理的位置を逆手に輸出や海外

シヨパンは心の故郷

ポーランド人にとってシヨパンの音楽は正に心の故郷なのだ改めて感じた今回の訪問だった。彼が二〇歳になった時、ポーランドは領土の大半をロシアに支配され、祖国独立の運動が激化していた。「ポーランドのために君がすることは武器を持つことではない。祖国のために素晴らしい音楽を作ることなんだ。」と家族や友人たちに説得されて旅立ったシヨパンは、二度とポーランドの地を踏むことはなかったが、その音楽はワ

シヨパン国際コンクール

五年毎に行われるシヨパン・ピアノコンクールは今年で十五回目を迎える。その準備は着々と進んでいた。私たちは実はそのプロモーションの為に来訪した。シヨパンの遺品や楽譜のあるシヨパン博物館、コンクールの運営をしているシヨパン・ソサエティ、日本人のピアニストたちがも受け入れている国立音楽学校シヨパンアカデミーやシヨパンの生家（ゼラゾバポーラ）やワルシャワでの家を訪問し、さらには会場となる予



シヨパン・アカデミー

仲間で家族で、

第15回 国際シヨパンコンクール鑑賞ツアー
企画してみませんか。

◎コンクール決選：10月18日～21日 ◎入賞者によるコンサート：23・24日
■チケットの申し込み・支払い締め切り：4月末日

上記の日程にあわせてピアノコンサートを組み合わせたシヨパンの旅を。ご希望の方はお問い合わせください。コンサートとホテルを組み合わせたバックツアー（1人から参加可能）もご紹介いたします。

♪♪♪ ふたつのクラシッタコンサート ♪♪♪
「ブラハの春」音楽祭 チェコ中世の都とウィーン9日

5月8日（日）～16日（月） 348,000円

「ブラハの春」音楽祭はスメタナの「わが祖国」で始まります。毎年歴しき5月の3週間にわたって開かれるこの音楽祭は新緑の輝きと花々が咲き始めるさわやかな季節とともに春の到来をつげます。中欧の自然と歴史ある都を訪ねる旅。

★ウィーンでは音楽家縁の地巡りと名画鑑賞。夜は楽しい居酒屋での歌とワインの夕べ。自由時間で「第三の男」にでてきたプラターや中欧皇地など映画の舞台へ。★メルクからクレムスまでのんびりぶどう畑を眺めながら「ドナウ川クルーズ」。

★「ユネスコ世界遺産」都市・チェスキー・クルムロフへ。美しいボヘミアの古都を訪ねます。

★「ブラハの春」音楽祭でオーケストラ・コンサートを2回お楽しみいただきます。ほかにチェコで有名な人形劇オペラや教会コンサートなどで希望により、追加手配いたします。

ウィーン③→チェスキー・クルムロフまたはその近郊②→ブラハ②→機中①

ウィーン・クラクフ・プラハ 8日

毎週（月）発 4月18日発まで 279,000～298,000円まで
ウィーン2泊、クラクフ2泊、プラハ2泊のコンパクトな旅。

★街の中心地のホテルで宿泊、現地係員同行で3つの魅力ある都をゆっくり見学。★都市半日市内見学。夜、希望者はオペラ、コンサートへ



バリオアデントロでできたスポーツ施設

大統領府



中南米の熱い風 ベネズエラ

新藤通弘（中南米現代史研究家）
聞き手・編集委員会

▼十一月二〇日から十日間の日程で新藤さんをコーディネートナーとして、話題のベネズエラに行かれましたが、率直にどんな国でしたか？

▼私たちの年齢ですと、六〇年代に「コーヒールンバ」という曲が流行りましたね。本当は「コーヒールンバを挽きながら」という、しつとりしたベネズエラの愛の歌なのです。その歌の国なんです。今人口が約二、五〇〇万人（日本人も六〇〇人位いるようです）で、一般にはミス・ユニバースが多くでている美人の国とか、世界第五位の埋蔵量を誇る石油の国といわれています。現地でガソリンの値段を聞きました。日本に較べると一リットル／五円くらいでほとんどだだ同然でした。

▼ラテン系の国ですから、明るいんでしょうね。
▼ファーストフードでの昼食の時など、若い女の子たちが、「どこからきたの?」、「ベネズエラはどう?」と、気軽に聞きます。素朴な感じがしましたね。

▼具体的にどんな日程でしたか？
▼今回は、日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会が主催した友好連帯訪問団（十二名参加）だったわけですが、秋庭理事長をはじめ、労働組合

役員（元教員、大学教員、地方組織の役員の方など、多彩な方々が参加しました。市内観光以外に、現地六日間で十八組織と十九の会見を行なう事ができました。

▼十八組織十九会員となかなかハイトなスケジュールで、昼食を取るのも大変だったと聞いています。

▼受け入れ団体は、世評にも加盟している、ベネズエラ国際連帯委員会という団体です。組織をあげて、誠心誠意、対応していただきました。

▼どんな組織と流したのですか？

▼まず、一年前にできた革新的な新聞社（ベア紙）を訪問しました。当初、数千部だった発行部数が、今八万部と躍進し、二番目によく読まれる新聞になったんですよ。

それから国営のテレビ局を訪問しました。四つのチャンネルは、民間で毎日チャベス反対の放送をしています。国営テレビは公共的な性格もあって、一定の基準（テロやクーデターを主張する人など憲法に違反しない人）をクリアした人は、誰でも議論できるとのことです。

もちろん、チャベス反対でもないわけ。それと教育省、ボリバリアーナ大学、小学校も行きましたし、バリオアデントロ（居住区に

入ろう」という地域医療福祉活動、メルカール（「人民の店」）にも行きました。

貧困層を対象に、政府から補助金を出してもらって、協同組合を作り、生活必需品や食糧を通常の半額程度で売っています。

また、先日の選挙で七四％の高得票率で当選した与党の有力な指導者、ベルナル・カラカス市長にも会いました。バリオアデントロは、彼のアイデアなんですよ。

▼ベネズエラは一九八〇年代に入り、膨大な対外債務をかかえ、その解決の手段としてIMFや国際金融機関から過酷な構造調整を強いられたわけです。そこで、緊縮財政や総需要抑制、民営化および民営化に伴う労働組合の解体、規制緩和、賃金の引き下げ、貿易の自由化、輸入関税の引下げ、などが行われました。その結果、貧富の差が一層



ボリバル公園にて

ベネズエラ交流の旅をつくってみませんか？

ベネズエラ国際連帯委員会をはじめ、平和、女性、教育、労働組合、医療・社会保障、商工団体、農業団体など、今前進しているボリバル革命を支える各分野の方々と交流してみませんか？（担当：山口）

韓国 平和と交流の旅 5日

3月24日(木)～28日 142,000円
5月 5日(木)～ 9日 139,000円

- ★日本の教科書問題をきっかけに造られた韓民族の歴史を綴る「独立記念館」訪問。第二次大戦での日本による侵略の歴史をたどる「日帝侵略館」など見学。
 - ★朝鮮独立運動の安重根義士記念館と「韓国のジャンヌ・ダルク」柳寛順の足跡を訪ねてソウルと天安を巡ります。
 - ★元従軍慰安婦だった人たちの暮らす「ナヌムの家」訪問。ソウル市民との交流・懇談。
 - ★「世界遺産」指定・水原観光。韓国最古の温泉地・温陽で韓国式温泉体験。
- 東京・大阪・福岡・名古屋発・着。最低10名で実施、添乗員同行
- ①ソウル②→ソウル②



春に訪ねる 世界文化遺産 慶州・海印寺・扶余 韓国 古寺巡り 7日間

4月 7日(木)～13日(水) 185,000円
4月 14日(木)～20日(水) 185,000円
5月 5日(木)～11日(水) 187,000円

- 東京発・着。最低10名で実施、添乗員同行
- 大阪・福岡・名古屋発は別途料金で受付。
- ★日本の奈良とも姉妹都市の慶州へ。新羅・百済の時代の逸品を集める国立慶州博物館、武烈王陵、新羅仏教芸術の栄華・仏国寺、石窟庵の釈迦如来像、宗廟をじっくりと見学
- ★標高1430mの伽倻山、「韓国三大名刹」のひとつ・世に名高い「幢大蔵経」が収められている海印寺へ。
- ★朝鮮王朝時代の影響を強く残す安東（アンドン）へ。山々に囲まれ、古い民家を残す町並を散策。伝統の仮面劇でも知られる。
- ★百済王朝最後の都・扶余（フヨ）と公州を訪ね、宿泊は温泉地・鶴云説の残る需成で2泊。露天風呂あり、各地の名物料理をご用意。

ソウル①→安東→慶州②→海印寺→扶余→公州→需成②→ソウル①

特選カンボジア

甦った遺跡の数々・壮大な石造建築群と「東洋のモナリザ」デバダ像
アンコール遺跡とプノンペン 7日

2月 5日(土)～11日(金) 199,000円

- ★世界遺産アンコール・ワットとアンコール・トム。「東洋のモナリザ」デバダー像のある/シテアイ・スレイ寺院、水中に沈む遺跡クワレ・スピアンなど甦った遺跡の珠玉見学。
- ★シェムリアップに本拠をおく上智大学アジア人材養成研究センター訪問。カンボジア国際交流のために活動する人々と交流。
- ★広大なトンレサップ湖での水上生活、神秘的な日の出・日没の遺跡の風景、雑踏の市場。自然と一体となった生活を見学。
- ★首都プノンペンでは国立博物館と芸術学校へ。民族の伝統舞踊アプサラを学ぶ練習風景見学。

シェムリアップ3泊、プノンペン2泊、機中泊

「若きちひろへの旅」の著者 平山知子さん同行 ちひろ美術館協力

第2回ちひろを訪ねて 大連・哈尔滨・勐利への旅

5月5日(木)～5月12日(木) 235,000円
定員25名 添乗員同行

- ★平山知子先生が全日程可行情、中国東北部の地に、ちひろの青春の足跡を訪ねます。
- ★ちひろゆかりの七台河市と勃利を訪問。ちひろの足跡をたどり、村民と交流を持ちます。
- ★七台河市人民政府の全面的なご協力をいただき、歓迎の晩餐交流会も予定しています。

①成田5 大連 大連市内のちひろゆかりの地見学②日露戦争の激戦地、旅順の見学 大連5 哈尔滨③哈尔滨のちひろゆかりの地見学 夜行列車で北満の町、七台河へ（車中泊）④七台河周辺のちひろゆかりの地見学 七台河市人民政府の関係者との歓迎晩餐会⑤ちひろが青春時代を過ごした勐利の農村を訪問 ゆかりの地の見学と村民との交流会⑥七台河7 哈尔滨 途中、方正の日本人公墓を訪問⑦哈尔滨近郊の侵華日軍第731部隊罪証陳列館、東北烈士記念館の見学⑧哈尔滨5 大連5 成田

アフリカで 元気な人に 出会った！

佐藤敏輝（マウンテンゴリラに出会うルワンダ平和の旅」参加）

二ヶ月ほど前にケニアで動物の群れの川渡りを見てきた友人が「ルワンダに行こうよ」と言う。写真とビデオを見せられ、「も二もなく」「ウン！行く行く」と予約。問題はこれまでルワンダもゴリラも親しいお付き合いが無く、どんな準備をしただけのいいのか心配という……。



日本では馴染み薄い ルワンダ・ゴリラ

早速、図書館と書店へ。しかし「ゴリラ」で検索しても数冊の図書名が出るだけ、検索範囲を広げると「キングコング」「ゴジラ」まで出てくる始末。「ルワンダ」に至っては旅行記はおろか、まともな地図さえ無いのが実態、結局、旅行社が送ってくれた地図が「最も詳しい」と分かる。

黄熱病予防接種に行った成田検疫所では、世界各地風土病予防接種を仕事にしているはずのドクターと看護士が世界地図を見ながら「おい、ルワンダってどこだ？」と探している。「この辺ですよ」と指差すと「あー、あったあった」と嬉しそう。かくのごとく分からない地への旅となった。

ゴリラは本当の 平和主義者

ケニアを経由しアフリカの大陸、ルワンダに降り立ち、目にした大地。酸化鉄で真っ赤、どこまで行っても続く大地に「アフリカだ！」と感動すると共に、夕暮れになるとその色が郷愁を誘う。「やっぱり俺たちの祖先の生まれ故郷なんだな！」とシミジミ思う。

山の中腹で出会ったシルバーバックに目で「日本から逢いにきました。」と挨拶すると「遠いところから苦労なこったね、ま、好きなようにどうぞ」と言っただけの感じがする、優しく堂々とした眼差しと態度にすっかり気押され気味になる。仲間の女性は足をつかまされたり押されたりとすっかりご機嫌（本当は5m以上離れ

る決まりだが突然のことにレンジャーも対応しきれず）。「ゴリラの威嚇は争うためではなく、本当の争いを避けるためのもの」と聞いていたが本当にそう感ずる。「自由だ、平和だ。テロとの闘いだ」と言いながら世界中の街に爆弾の雨を降らせるとここの大統領に爪の垢を送りたい。

涙の笑顔でスラムの 子供たちと交流

旅のもう一つの特徴は、アフリカの大地で元気に生きる人との出会いだった。内戦で多くの人が殺され、手や足を失った人々が数多くいるルワ

ンダ。NHKでも紹介された吉田真美さんたちの義足工房では、身体の不自由な人たちが作業中。「まず自分の足で立てるように。その上で自力で仕事し、生活をしたい。これがみんなの願いです。義足を無償で提供するだけではなく、自立を支援することが大切です。」と真美さん。

帰路立ち寄ったナイロビのスラム、キベラの学校。親をなくし、少女時代から弟を世話。いまは自分の子だけではなく、里親として多くの子どもを引き取りながら学校運営をしているリアンさん。女傑かと思いきやごく普通の優



しい笑顔の魅力的な女性だった。前もって「このほとんどの子供が孤児や家庭に事情がある子供たちです」と紹介された。貧しく苦勞も多いだろうに、とてもか



わいく、素敵な笑顔で迎えてくれた子どもたち。「ママは素敵だ、ご馳走を作ってくれる、ママは私の大切な人……」との歌声に、みんなぼろぼろ涙を流しながら笑顔を作って交流。

子供たちを励ますつもりが、キラキラ輝く目にこちらが励まされた旅だった。そして「自分も何かしなくては！何をしたらいいのか？」と自問自答を繰り返す旅でもあった。

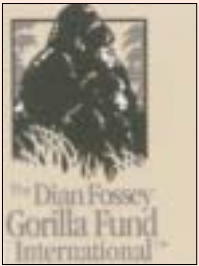
やっぱり『平和の旅』だった 今回のツアー

出かける前はツアー名に何の事やら？と思っていたが行ってみると自然保護、福祉、平和を言葉ではなく、肌で感じた旅となった。

真美さんはじめ、全く動かない右足で、自分で改造した車に乗ってルワンダ中を案内してくれたガテラさん（真美さんのご主人）や弟のバスフイックさんには本当に感謝、感謝である。ガイドの永松さんの案内も含め、自分がツアー客だったことを忘れさせ、遠くに住む親友が親戚を訪れたような気分旅をすることが出来たことにも本当にお礼を言いたい。



ゴリラ基金に ご協力を！



世界にたった七〇〇頭しか生存在いないマウンテンゴリラ。その保護に努力している人々、団体がいます。その一つが『ダイアン・フォッセーゴリラ基金』です。皆様のご協力をお願い致します。富士国際旅行社内「アフリカの人・子ども、動物を応援する会」（仮称）あて、郵便小為替で募金をお送りください。基金に送ります。（担当：大西）

世界遺産と音楽、交流―「本当の豊かさ」を考える旅 ハバナ、サンチャゴ・デ・クーバ ゆったり11日間

3月3日（木）～3月13日（日）398,000円
定員20名（最低実施人員10名）添乗員同行
◎首都ハバナ、革命発祥の地サンティアゴ・デ・クーバにゆったり滞在。キューバの魅力を余すところなく味わっていただきます。
◎家族や友人との団らん、音楽を何よりも大切にする人々。交流と音楽「本当の豊かさ」を考える旅です。
◎有機農業、医療、高齢者対策……国づくりの努力をじっくり観察・懇談。
①成田空港発トロントへ②空路ハバナへ、午後：市内見学（革命広場、モロ要塞、旧市街）③ハバナ医科大学訪問、有機栽培農家訪問・交流④終日自由行動。夜：希望者はトロピカーナショー⑤空路サンチャゴ・デ・クーバへ。午後：市内見学（モロ要塞、旧市街、モンカダ兵営博物館、グランマ島）⑥郊外の農家訪問と地域の年配者らと交流⑦終日自由行動⑧空路ハバナへ。夕刻：在日日本人宅でのカレーパーティー・懇談⑨ヘミングウェイゆかりのコヒマル見学。午後：空路トロントへ⑩トロント発⑪午後：成田空港着

三上満さん同行 激動の中南米と先住民文化 世代をつないで行くメキシコの旅10日間

3月7日（月）～3月16日（水）378,000円（25歳以下・286,000円）
定員30名（最低実施人員20名）添乗員同行
◎未来を見つめ、世代をつなぎ、世界の人々ともつながる旅。平和と民主主義に青春と生涯をかけて頑張ってきた世代と未来を担う若い世代が一緒に行く旅。
◎親米政権に替わって自主的で国民本位の政策を掲げる政権の誕生、激動と変革の道を歩む中南米。新しい世紀へ歩みをすすめるメキシコを訪ねます。
◎メキシコで最も多くの先住民が暮らすオアハカとチアパス州。マヤの人々が築いた巨大な遺跡、世界文化遺産の数々。多様性と色鮮やかな文化と人間の尊厳への尊重。
①成田空港からバンクーバー経由でメキシコシティへ②午前：国立人類学博物館見学。午後：メキシコ市の革新市政の努力の見学と懇談。夜：希望者はマリアッチ見学③空路、オアハカへ。世界遺産・モンテアルバン遺跡見学。夕刻：第1回しゃべり場④午前：オアハカ伝統文化、工芸などの見学。午後：教育労働者または農民の方々と

談、マクドナルド反対運動⑤午前：自由行動。午後：トゥクストラ・グティエレスへ⑥スミデロ渓谷見学。午後：サンクリストバル・デ・ラス・カサスで先住民の方々と懇談⑦シナカンタン村など先住民の村での観光。夕刻：第2回しゃべり場⑧空路メキシコシティへ。テオティワカン遺跡見学。夕刻：メキシコ人活動家宅で夕食交流会⑨午前：メキシコシティ発⑩夕刻：成田空港着

ケニア三大公園と元気に生きるアフリカ・日本の人々を訪ねる 5月連休 ケニア10日間

4月29日（金）～5月8日（日）552,000円
定員18名（最低実施人員12名）添乗員同行
◎動物の種類と数をもっとも多いマサイマラ国立保護区に3連泊。キリマンジャロのアンボセリ国立公園、ナクル湖国立公園を含む三大公園にゆったり滞在。
◎マサイマラではマサイ族や地元のケニア人の自立支援と環境保護に努力するロッジに宿泊。ケニアの人たちに歓迎される国際協力に努力する日本人など、未来のために元気に生きる人たちとも豊かに交流。
①関西空港よりナイロビへ②③アンボセリ④ナイロビ⑤ナクル湖⑥⑦⑧マサイマラ⑨機中

富士国際だからできる安心、安全で、感動いっぱい の春休み親子孫で訪ねるケニア

3月25日（金）～4月3日（日）
大人523,000円、こども（12歳未満）398,000円
定員12名（最低実施人員6名）
◎人類が生まれた大地で目のあたりにする数多くの動物の営み。親子、孫で感動を共有する素晴らしい最高の春休みプレゼント、進学・進級のお祝いに。
◎絶滅に瀕する動物、環境問題、貧困……。地球と人間がかかえる問題とその解決のために元気に生きるアフリカの人々、日本のNGO。そんなふれあいが未来を生きる子どもたちにとって大きな宝物に。
◎大人の方だけで参加されても感動いっぱいのコース。ご遠慮なく、お申し込みください。
①関西空港よりナイロビへ②③ナイロビ（国立博物館、シティマーケットまたはスラム、動物孤児院、ジラフセンターなど）④ナイロビ郊外のマサイ族の村でホームステイ⑤大自然の中のマガディ湖でキャンプ体験⑥ポートサファリ⑦⑧マサイマラ国立公園（終日サファリドライブ）⑨機中

第2回 郷土の おすすめ 特産品 物産紹介

群馬 シラネアオイ咲く 乾燥椎茸 野反湖近くで育った



この地域の山桜の色は濃い。

柔らかな新緑に見事な桜色が色

を添える頃椎茸の栽培場をたず

ねました。その見事な育ちぶり、

厚さ二センチ以上もある椎茸が

次々と穫られ、手際よく並べら

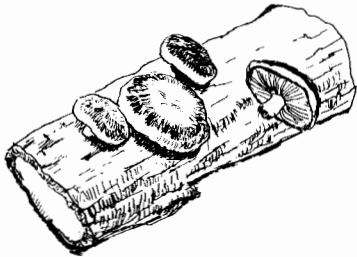
れて乾燥機にかけられます（身

の厚い椎茸は乾燥に時間がかか

り虫がつくため天日より機械が

ベスト）。生食したらどんなに

旨いことか、ちよつと惜しいよ



「乾燥椎茸」100g・500円（標準）

◆購入先

群馬県吾妻郡六合村入山4296

山口和男

Tel：0279-95-5605

※好評につき現在品切れ状態のため、発送は5月以降となります。

倉敷 自然の果汁が香り高い ポン酢



倉敷の「美和ポン酢」。これ

はいけます。スーパーなどで

売られている一般のポン酢を

使っている当家に、知人から

「美和ポン酢」が届き、使っ

てみてびっくり。「ポン酢」と

こんな香り高きものかと。

その後、おひたしや焼き魚に

までジャボジャボぶっかけて

愛用しています。ちよつとし

た気配りで、人間、文化の領域



倉敷味工房・石原信義さん

「美和 ポン酢」 360ml・750円

（写真はホン酢の他5本入詰め合わせ）

◆購入先

倉敷鉦泉株式会社 〒710-0052

岡山県倉敷市美和2-7-17

Tel：086-422-6020

Fax：086-422-6019

フリーダイヤル：0120-21-6020

編集後記

当社がベトナム旅行をはじめたのが一九七四年の秋、そして翌年の春にベトナム全土が解放されました。早くも三〇年を迎えます。

「独立と自由ほど尊いものはない」

「独」と自由ほど尊いものはない

私は、日本敗戦の翌年に生ま

れましたが、日本も戦後六〇年、

ホーおじさんの言葉は、現在の

日本にも、世界にもますます新

鮮に響きます。

誰のために憲法を変えろと言

うのでしょうか。歴史をあととど

りさせるのは、まっぴらごめん

です。

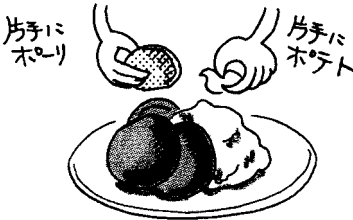
（MK）

エスニック料理

藤本了江さんの 連載 26 (ふじもとすみえ 家庭科教育 研究家 日本AAA料理士)

かもがわ出版「家庭でできるエスニック料理」より

インド ポーリ・ポテト (揚げせんべいとマッシュポテト)



- ① ボウルに小麦粉、マーガリン、塩少々を入れ、お湯約1カップを少しずつ加えながら耳たぶくらいの固さにする。
- ② ボウルに重いフタをのせ、15分くらいおく。
- ③ ②をめん棒で薄くのばし、8cmく

- らいの円形に切り抜き、高温の油で揚げる。
- ④ ジャガイモは半分に切り、蒸して皮をむき、つぶす。
- ⑤ フライパンに油を入れて熱し、粒辛子を入れてはじいたらバターを加える。タマネギのあられ切りを入れ

- 材料（5人分）
- 揚げせんべい
 - 小麦粉（無塩）……300g
 - マーガリン……大さじ2
 - 塩、揚げ油
 - マッシュポテト
 - ジャガイモ……8～10個
 - タマネギ……2個
 - 青とう……5個
 - チリパウダー……小さじ1/4
 - 粒辛子……小さじ1
 - バター……大さじ1
 - サラダ油……大さじ2

- て炒め、縦細切りにした青とう、チリパウダーを加えてきつね色になるまで炒める。
- ⑥⑤に④と塩を入れて混ぜる。
- ⑦右手でポーリを持ち、ポテトをつまんで食べる。

世界自然遺産を歩く

春～新緑の白神山地を訪れる 白神岳登山とブナ林を歩く

5月27日(金)～30日(月)

6月4日(土)～7日(水)※費用は2月下旬発表

定員20名 添乗員同行

★日本で初めて世界遺産に登録された白神山地をあるきます。

★日本海を一望できる白神岳を登山。

屋久島シリーズ

自然の宝庫・世界自然遺産の島をあるく 春山麓がいっせいに春を謳歌する季節 屋久島・自然体験 5日間

3月27日(日)～31日(木) 143,000円

4月24日(日)～28日(木) 141,000円

定員20名 添乗員同行

★終日、縄文杉への登山。現地のガイドの案内で自然をより満喫。

★オプションで宮之浦岳登山や白谷雲水峡を散策。

北海道 春の花旅シリーズ

春を彩る アポイならではの高山植物との出会い “花の宝庫”アポイ岳と二セコ

5月15日(日)～19日(木) ※費用は2月中旬頃発表

定員15名 添乗員同行

★標高800mの低さで高山植物を満喫。

★アポイにしかない花々の咲く季節。

～レブンアツモリソウの季節～ 春の花を楽しむ礼文島と利尻島

5月29日(日)～6月2日(木)

6月5日(日)～6月9日(木) ※費用は2月中旬頃発表

定員15名 添乗員同行

★北海道の大雪山なら1600m以上でないと見られない花々が低地で咲き乱れる季節を訪れます。



戦後60年 琉球探訪 沖縄本島 4日間

3月27日(日)～30日(水) 97,000円(大人)

4月24日(日)～27日(水) ※費用は1月中旬発表

6月26日(日)～29日(水) ※費用は1月中旬発表

定員20名 添乗員同行

★南部戦跡・中部基地をしっかりと地元の平和ガイドにより理解を深める平和の旅。



奄美の自然と田中一村

3月13日(日)～16日(水)

※費用は1月中旬発表

定員20名 添乗員同行

★奄美に魅せられ移り住んだ画家・田中一村美術館と自然を満喫



アンデルセン

1805年12月14日 - 1875年10月11日

宮下孝美&智美（コペンハーゲン 観光ガイド）

主義」と批判しているところ、アンデルセンはさぞかし落胆するであろう。この童話のテーマは遺伝である。精神病者の祖父、亡くなる寸前に発狂した父、



（一面より）
拡大し、国民経済が深刻な危機におちいりました。そういう新自由主義政策に、国民の不満は頂点に達したわけですから。広範な市民が立ち上がり、チャベス政権が誕生する事になりました。彼らが進める社会変革をボリバル革命と呼んでいます。スペインからの独立を指導したシモン・ボリバルに由来するものです。興味深かったことは、それぞれの地域、分野で進められるプロジェクトに地域住民、国民が主人公として参加する、参加型民主主義を強調していたことですね。例えば、学校の運営をする時は教授も学生も参加するし、女性の起業のための女性銀行があります。この場合もただ単に資金援助するだけではなくて、女性が自立できる経営・簿記知識も支援助しつつ、自分たちの仲間が協同組合の形で参加するんですね。その変革を進める上で、行く先々で国際連帯も強調されました。▽新藤さん自身はどういう感想を持ちましたか？

アンデルセンは「武器で人は殺せても、その魂までは殺せない」と語る。確かに人魚姫とマッチ売りの少女の魂は死後、天に上り、幸せを見つけている。十九世紀初頭に生まれた作家アンデルセンは童話を通して権力者達を非難した。マルグレーテ二世女王陛下が「彼の童話は繰り返し読んで理解できる奥深いもの」と賞賛する理由がここにある。当時の権力者達もアンデルセンの意図を知りながら自由に執筆活動をさせていた。

日本では二十世紀に入っても賄賂・汚職・横領事件が絶えない。「甘い言葉に気がつけろ」は昔の事、「オレオレに気を付けろ」、「オレオレ一座」に気を付けろ」と時代も変わった。「億円は記載無用・領収書無用」と金銭感覚も狂った。アンデルセンの生誕地コペンハーゲンを訪ねる。コペンハーゲンとオーデンセに各2泊。ゆったりした日程で、北欧の福祉、年金制度をじっくり視察。公的機関の専門職、行政の諮問機関の高齢者理事会、年金者団体など多角的な懇談と交流。高齢者のつどうセンター、施設も見学。戦争に反対し、童話を通して権力者たちを批判したアンデルセンの生まれ故郷に2泊。チボリ公園や人魚姫の像、運河ツアーなどコペンハーゲンの魅力とともに、アンデルセンの家や博物館などアンデルセンの世界と北欧の田園地帯をたっぷり堪能。訪問時期は5月末から6月初旬。日が長く、暖かになる時期。北欧の初夏、素晴らしい季節と景色、人々とのふれあいをお楽しみください。

「世界三大ガッカリを見るぞー！」と意気込む日本人観光客を時々見る。何故、コペンハーゲンの「人魚姫の像」と「ニューヨークの『自由の女神』」を比べて「小さ過ぎる！」と言うアメリカ人と同意見なのだろうか？ もし、ブッシュ大統領が「自由の女神と梅干のどちらが欲しい？」と聞いたなら、私なら「梅干！」と即座に答える。見るだけで食欲が増す梅干には価値がある。高い旅費を払って来たのなら海辺に佇む「人魚姫の像」を見て「二つの世界の真ん中に立って苦悶するアンデルセン」くらいは感じてもらいたい。

今年にはアンデルセン生誕二〇〇年記念の年。「旅をする事は生かせること」これはアンデルセンの言葉です。皆様、いい旅いい仲間で人生を楽しみましょう！ さすれば我が家の経済はパンパンザイイ！

「醜いアヒルの子」を読んだ日本人が「アンデルセンは白人

「醜いアヒルの子」を読んだ日本人が「アンデルセンは白人

「醜いアヒルの子」を読んだ日本人が「アンデルセンは白人



全日本年金者組合の旅 北欧でどう老後の安心を生み出したか

スウェーデン&デンマークに福祉、年金制度を訪ねる 9日間

5月31日（火）～6月8日（水）9日間 357,000円

○スウェーデンの地方都市、人口8万人のハルムシュタッドに3連泊、デンマークの首都、コペンハーゲンとオーデンセに各2泊。ゆったりした日程で、北欧の福祉、年金制度をじっくり視察。

○公的機関の専門職、行政の諮問機関の高齢者理事会、年金者団体など多角的な懇談と交流。高齢者のつどうセンター、施設も見学。

○戦争に反対し、童話を通して権力者たちを批判したアンデルセンの生まれ故郷に2泊。チボリ公園や人魚姫の像、運河ツアーなどコペンハーゲンの魅力とともに、アンデルセンの家や博物館などアンデルセンの世界と北欧の田園地帯をたっぷり堪能。

○訪問時期は5月末から6月初旬。日が長く、暖かになる時期。北欧の初夏、素晴らしい季節と景色、人々とのふれあいをお楽しみください。

BOOK GUIDE

『あなたの子どもは、あなたの子どもではない』

デンマークの30年——仕事・結婚・子育て・老後

宮下孝美・宮下智美著 山口道宏・編集協力

A5判・並製本・192頁・写真30点 定価1,890円（税込）
●2005年1月初旬発売●

出産時に見た育児パンフのタイトルは「あなたの子どもは、あなたの子どもではない」だった。国政選挙投票率86%、汚職がない国といわれ、福祉と環境だけでなく、教育の無料化など、徹底して働く者、学ぶ者、弱者に配慮された国デンマーク。このデンマークに住み着いたユーモラスな夫婦が語る「民主主義の素顔」を紹介します。

発行：萌文社 〒102-0071千代田区富士見1-5-12
TEL.03-3221-9008 FAX.03-3221-1038

介護職をめざす方々へ

北欧デンマーク高齢者福祉視察

2月12日（土）発 7日間 225,000円
3月19日（土）発 7日間 245,000円
定員15名（最低実施人員10名）添乗員同行

★視察前にデンマーク福祉のレクチャーを実施。
★在宅介護から施設介護までの流れを視察します。
★介護職員養成学校を訪問、交流します。
★デンマーク・コペンハーゲンに5連泊のゆったりした日程です。

①成田発5 コペンハーゲンへコペンハーゲン5連泊>②午前：デンマーク福祉制度のレクチャー 午後：コペンハーゲン市内見学＝人魚姫の像など③午前：在宅ケア（ヘルパー）センター見学 午後：自由行動④午前：介護職員養成学校訪問 午後：高齢者住宅見学⑤終日：高齢者施設見学（プライエム・保護住宅・デイセンター・介助器具センター）見学⑥5 空路、帰国の途へ<機中泊>⑦成田着

紺碧の地中海、砂漠に浮かび上がる古代遺跡群

チュニジア歴史探訪10日

3月21日（月）発 335,000円
定員15名（最低実施人員10名）添乗員同行

アジアの福祉政策をみる

韓国高齢者福祉視察

3月23日（水）発 4日間 137,000円
4月20日（水）発 4日間 137,000円
定員15名（最低実施人員10名）添乗員同行

★韓国は近年の高齢化とともに産業化、都市化、核家族化などの急激な社会環境の変化により、家庭内的高齢者介護機能が弱体化してきています。そのため、高齢者の施設保護に対する要求が増大しています。

<施設紹介>
*社会福祉法人「スン工院」
高齢者医療と在宅高齢者介護を目的とした総合福祉施設
*韓国社会福祉村「セムト村（痴呆療養院）」非認可施設で、現在60余名の高齢者が生活しています。政府の補助金はありますが、義援金とボランティア活動により運営されています。
*社会福祉法人「仁川ヨナラク院」
①成田・名古屋・関西・福岡発5 ソウルへ 午後：ソウル市内見学<ソウル3泊>②午前：京畿道にある「スン工院」にて韓国福祉のレクチャーと見学 午後：「セムト村」見学③午前：仁川「ヨナラク院」見学 午後：自由行動④ソウル発5 成田・名古屋・関西・福岡着

目一回ッパの街づくりと環境を考える

フランス・ドイツ 8日間

3月21日（月）発 383,000円
5月 2日（月）発 393,000円
定員15名（最低実施人員10名）添乗員同行

★「自動車減らし」をめざし、路面電車を開通。環境改善と商業地域の活性化を進める世界遺産都市ストラスブールを視察します。
★ドイツ・フライブルグ都市計画課とデスクッションと市内視察を通じて、環境重視の街づくりを視察します。

★ワイン造りの小さな村々が連なるアルザス地方のワイン街道をめくります。

①成田発5 夜、世界遺産都市ストラスブール着<ストラスブール3泊>②午前：ストラスブール市内見学＝ノートルダム大聖堂、ブチットフランスなど 午後：自由行動③午前：ストラスブール都市共同体交通局訪問 午後：トラム乗車など④6 アルザス・ワイン街道沿いにドイツ・フライブルグへ<フライブルグ3泊>⑤午前：フライブルグ市都市計画課担当者によるレクチャー 午後：市内視察とデスクッション⑥早朝：朝市見学 午前：エコステーション（環境教育）見学 午後：自由行動⑦フライブルグ6 5<機中泊>⑧成田着



北米最高峰マッキンリー山（標高6193m） 撮影者：山本圭一氏



筆者・右



黄葉のアラスカ 撮影者：近森昭三郎氏

アラスカ”^{とき}季の移ろい“

星谷美智子（アラスカ在住・ガイド）

春の新緑と夏の白夜

アラスカといえば直ぐに一年中氷に閉ざされた“極寒の地”と曲解されがちであるが、アラスカの季節の移ろいは本当に美しい。ここでは素晴らしいアラスカの巡る季節を一部紹介したいと思う。

アラスカに春の兆しが現れる四月、半年間（十月～三月）凍りついていた大地を太陽がどんだん溶かし、雪原のあちらこちらに黒い土が見え始め

ると、冬の間植物たちは雪の下ですっかり準備を整えていたのか……雪解けと共に一斉に花が咲き始める。芝が日に日に青さを増し、新緑が瞬時にして濃い緑色に変わって行くなど、植物の生命力の力強さを最も感じ取る事ができる季節である。長く厳しい冬があるからこそ、この土地の人々は植物の生命力を誰よりも感じるであろうと思う。

冬が長い北の暮らして、短い夏の季節に咲く花々がどれ

だけ人々の心に安らぎを与えるかを感じずにはられない。

夏季（だいたい六月中旬～八月）は暖かいだけではなく、日中太陽が沈まない白夜の季節である。果てしなく続く針葉樹林の広がり、氷河を抱く山々、フィヨルドの美しさ、

四国ほどの広さがあるデナリ国立公園での野生動物との出逢い……初めてこの土地を旅する人は、その手付かずの自然の大きさに戸惑いながらもアラスカのイメージをすっかり塗り替えること間違いない。八月も終わりにになると、白

樺やポプラの葉が黄に色づき、アラスカの原野はゆっくりと紅いじゅうたんに敷き詰められ、秋の訪れがやってくる。

あるぐつと冷え込んだ日の翌日、わずか半日で紅葉が変化していく様子には毎年驚かされる。日に日に日照時間は短くなり、気温もどんどん下がりは始める中で去り行く夏を名残り惜しく想う季節でもある。

心を温めてくれるオーロラ

オーロラ

そして……ある日突然初雪はやってくる（今年は九月十五日が初雪）。寒い所ではマイナス五〇度の寒気、半年間雪に閉じ込められた長い日々、そして日照時間の短い、長く厳しい冬が始まる（冬至には日の出は午前十一時過ぎ、日の入りは午後二時前）。私はアラスカの冬を越す大変さは、その寒さではなくあまりにも短い日照時間である事を実体験を通して学んだ。

しかし、そんな暗い冬にさえ人々は光を見出していく。そう冬の光、オーロラ。アラスカで暮らす人々にとって、オーロラは決して珍しいものではないが、長く暗い極地に生きる私たちの心を慰め、温

特別企画

冬の夜空を彩る神秘的自然現象
アラスカ・オーロラとマッキンリー眺望
7日間

2月22日発・283,000円 3月22日発・299,000円
3月29日発・299,000円 定員20名（最低実施人数10名）

チェナ温泉③～タルキートナ（マッキンリー眺望）①～アンカレッジ①

アラスカでは12月には日照時間が2時間。こんな場所でも強く、たくましく生活している人々も、また動植物もいます。こんな極寒の土地だから神秘的なオーロラも出現します。このような土地で生活しても心豊かに暖かく皆様を迎えてくれる、現地の人々との交流も楽しめます。日本では絶対に味わえない大自然の体験・交流をお楽しみください。オーロラを見るには北極圏よりもカナダよりも日本から最短で行けるのがアラスカです。

- 年間250日前後という高いオーロラの発生率を誇る場所での観測。街の灯りの影響が無いチエナ温泉に滞在。オーロラに出会えるチャンスも高まります。
 - 北米最高峰マッキンリー6193m、眺望のタルキートナへも滞在。植村直巳さんの最後に宿泊したホテルなども訪問。
 - 滞在中は防寒服（パーカー、スノーブーツ、オーバーパンツ、グローブ）を無料でレンタルいたします。
 - アラスカ産のキングクラブ（蟹）など名物料理もご賞味。
- ◎全国各地、最寄りの空港から出発可。お問い合わせください。



めてくれる、なくてはならない物なのである。寒さを肌で感じながらオーロラを見ると、本当に言葉を超えてしまう。これはきつと世代を超えて誰もが感じ取れる経験に違いない。

私もこの地に住み、冬をしっかりと越したからこそ四季を感じ取る事ができるのかもしれない。

いと思う。

自然に没入癒しを求める
キャンティワインの故郷の野山を歩き郷土料理を楽しむ
イタリア・トスカーナウォーキング 10日間

3月14日発・334,000円 3月23日発・336,000円
4月13日発・338,000円 5月11日発・353,000円
フィレンツェ②～キャンティ地方④～シエナ②

シニア割引の特別コース・路線バスと列車で行くのんびり旅
ドイツ中世の古城と最高峰を巡る9日

4月11日発・299,000円 5月9日発・329,000円
5月16日発・346,000円

憧れのハーミテージホテルに3連泊
ニュージーランドマウントクックハイキング

2月 5日（土）～2月13日（日）398,000円
3月26日（土）～4月 3日（月）399,000円
機中①～ウィーンズタウン②～テ・アナウ①～マウントクック③～機中① 9日間

◎各コースとも定員20名（最低実施人員10名）。成田空港から添乗員同行。

「世界の山々を歩く」集いとティーパーティのお知らせ

■4月9日（土）13時～16時 春～秋のハイキング、トレッキングウォーキング

◎今年のツアーをビデオや写真を通して説明いたします。◎詳細や参加ご希望の方は事前に担当：市村・原沢へ

「世界の山々を歩く」写真コンテスト 入賞者発表

秋の大阪及び東京での写真交換会では、ご参加の皆様の審査で下記の方々の写真が入賞となりました。以下の発表とさせていただきます。

- | | | |
|------|---------------------|-------|
| ◎一等賞 | ヨーロッパ街道トレッキング参加 | 田辺七郎様 |
| ◎二等賞 | ヒュッテに泊まるアルプスハイキング参加 | 松城壽雄様 |
| ◎三等賞 | ニュージーランドハイキング参加 | 対崎 巖様 |
| ◎四等賞 | スイス・アルプス ハイキング参加 | 山内金久様 |
| ◎五等賞 | ヨーロッパ街道トレッキング参加 | 小林尚子様 |

●ご入賞の皆様おめでとうございます。
めでたく入賞された5名様には、ささやかですが副賞を贈らせていただきました。



一等賞 田辺七郎様 撮影